

水稻育苗シートの効果確認試験

JAたきかわ

河崎 寿朗



5月①



5月②



5月③

試験目的

本州太陽シートの効果確認

試験作物 及び品種

水稻(ななつぼし)

試験資材 及び数量(規格)

本州太陽シート(2.7m×50m) 2枚

慣行資材

シルバーポリトウ

栽培方法

育苗開始日

慣行区:4月29日
試験区:4月29日

※箱をハウスに並べた日

資材使用期間

5月2日~5月12日

試験区面積

270㎡



試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

特に問題がなかった。ハウス内を換気しないため、風にあおられる可能性がないことから重石を置くこともなかった。サングラスが必要なくらいキラキラしている。

ただし、つなぎ合わせがシワになりやすい。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

慣行品と変わらない。10日間かけて、3日程度で発芽した。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】:換気しないため、省力化につながる。
【問題点】:片付けが面倒。納品されたとおりに畳んだが非常に面倒であった。

(4)保温効果について

ハウス内が最高48.6℃であったが、シート内は24℃程度に保たれた。夜温は計測していない。

モニター感想

今年の春先の天候は寒かったため、ハウス内が30℃ぐらいになるまでシートをかけなかった。

あったかくなったところでシートを展張し、換気作業を行わずに育苗することができた。

省力化も図れ、非常に有効な資材と考えられる。しかし、片付けに時間がかかり、水がついて乾かすのに拭いたりして半日かかってしまった。

それ以外は特に大きな問題もなく、コスト面でシルバーポリトウと同等かそれ以下になれば来年度以降も更新していきたい。

JA担当者の感想(赤平支店 松浦課長)

JAたきかわ赤平地区においては、ここ3年の間に太陽シートを使用する組合員が年々少しずつではあるが増えてきている。作業の面においても省力化が図れるところが多く良い商品であるが、コストが高いことと、使用後の保管までの作業に何件かはあきらめているのが現状である。

その部分が改善されれば値段的に高い商品ではあるが、使用される組合員がまだ増えるのではないかと思われる。

新たに使用する組合員が出たときはまたモニター試験をお願いしたい。

今後の使用について

継続して使用したい。

1 農家のフィルム
2 マルチ

3 不織布

4 育苗資材

5 トンネル資材

6 防虫ネット

7 酪農資材

8 ICT機器

9 その他